ベトナムにおける環境保全型地域づくり

コメやコーヒーの輸出量が世界有数の農業国として知られるベトナムは、1990 年代に入り目覚ましい経済成長を遂げてきました。しかし現在、ベトナムの人々は上昇し続ける物価、川や森などの環境破壊、大気汚染、そして生命を脅かすような危険な食品が市場にあふれていることに危機感を抱いています。今回は、自ら Seed to table を立ち上げ、ベトナムで地域の人々と農村の課題を解決していくために取り組んできた伊能さんに、現地での活動についてお話していただきます。

●講師プロフィール

伊能まゆ（Seed to Table 代表）

1997 年 3 月に明治大学文学部卒業後、渡越。日本の NGO が実施していた事業や学術調査に翻訳・通訳、調査者として参加し、ベトナムの北部から南部の農村を歩く機会を得る。2000 年 4 月に一橋大学社会学研究科博士前期課程に入学。博士前期課程を終了後、2003 年 4 月に日本国際ボランティアセンター （JVC）ベトナム事務所に赴任。2005 年 6 月より 2009 年 3 月までベトナム事務所代表を務める。2009 年 7 月に任意団体 Seed to Table～ひと・しぜん・くらしつながる～を設立。2010 年 4 月に東京都より法人格を取得し、特定非営利活動法人 Seed to Table ～ひと・しぜん・くらしつながる～となる。

【日時】
1 月 16 日（月）14 時 30 分～16 時

【会場】
愛知県立大学長久手キャンパス・多目的ホール

【対象】
学生、教職員、学外一般どなたでも

参加無料・申し込み不要
直接会場へお越しください。

●問い合わせ先：愛知県立大学　研究支援･地域連携課
E-mail：renkei@bur.aichi-pu.ac.jp
TEL: 0561-76-8843

主催：愛知県立大学多文化共生研究所　共催：愛知県立大学地域連携センター